

『逆境を力に』変えた

AIJ会員
株式会社 YST
代表取締役 的場義春

『プロフィール』

一九八二年七月二十九日練馬区に生まれる。所沢市、清瀬市と移り住み小学三年生の時に立川市での生活が始まる。小学校、中学校と野球に明け暮れる。高校へ進学をしたが夏休みに、建築現場でのバイトで仕事の面白さに気づき高校生活にピリオドを打ち、就職の道を選ぶ。その後、防水をメインとする建物修繕会社に就職し八年の修業の後、独立。平成二十三年ワイズテック創業。平成二十八年四月に株式会社YSTを設立。現在に至る。

【鈴木室長】こんにちは。的場会員をさらに会員みんなに知っていただきたいので色々なお仕事をしていますか。
【的場会員】建物修繕工事をしています。主に防水工事をメインの外壁の修繕などをしてしています。
【鈴木室長】なぜ現在の仕事に従事されたのですか？
【的場会員】高校をみんなより早めに卒業して（笑）色々な仕事をしてきました。とび

職、居酒屋の店員、ロシアンパブのボーイなど色々な仕事を経て今の仕事の基となる会社に入社し、その会社で八年間勤務したのち、独立をしました。

【鈴木室長】会社設立時はどのような仕事を増やしていったのですか？

【的場会員】最初は知り合いもなく、取引先もない。しかし自分が修行をして育ててもらった会社、また、関係先などに甘えなくなかった。そこで最初は同業者の応援で実力を見てもらい、認めてもらった後、請負での仕事をもらい、新規開拓と紹介で徐々に仕事を増やしていった感じですかね。

【鈴木室長】『逆境を力に』変えたことは？

【的場会員】現在、コロナの影響でやはり仕事は減っている。



THE 対談 鈴木広報室長×的場会員

最初の緊急事態宣言時まだ何も先が見えない状況下で、作業の出来る現場はあるものの、影響が確実に出てきている。お客様が近くにいる現場などは、接触してしまいうから仕事ができないなど出てきて、「やばいな、この先どうなってしまうのだろう」と危機感を感じた。そこで『逆境を力に』変えるため、お客様に対して積極的に外装工事だけでなく、内装の工事も営業など声をかけるようにし、仕事を増やしていきましました。

【鈴木室長】今後の展望は？

【的場会員】うちは施工会社なので施工でどこにも負けない技術、お客様が満足してもらえる会社になりたい。一人の職人としても、株式会社YSTとしても誰にも迷惑かけることなく、社員を教育し、みんなが一丸となつてどこにも負けない良い仕事をしていきたい。個人としては、やっぱりお金持ちにはなりたくない（笑）けど、それは仕事を頑張った対価として成功していく姿を社員にも見せて、頑張ればこんな風になれるぞ！と背中を見せ、希望を与えて行こうと思っています。

青年経営者

担当：



インタビューを終えて：

私が思う的場さんのイメージは、誰にでもフラット。偉ぶる事無く接してくれる。ここぞと言う時に近くで見守り気には掛けてくれる。なぜか周りにはいつも人で溢れ、多くの仲間がいる。若かりし頃は、同年代の仲間内でも中心にいた。同年代の中でリーダーとして周りをまとめ上げる資質を持ち、カリスマ性があるってことなのかなと思う。実体験として、大雨の日に傘がなく歩いてみると、遠くから大きな声で「鈴木君！」と呼び止められ、的場さんにしては、かなり大きな傘の中に入れてくれました。そんな優しさを誰にでも当たり前にできる人だと思う。私が目指したい尊敬できる経営者の一人です。